本物に触れる体験を赤城南麓から　南麓人

まえばし農学舎の取り組み

赤城南麓地域で、「本物にふれる特別な体験。」をとおして、その魅力を伝えるイベントなどを企画・運営するＮＰＯまえばし農学舎。昨年７月の設立以来、小学生が野菜の土作りから収穫・販売までを体験するあかぎキッズファームやファーミングキャンプ、里山学校など、体験型のイベントを企画・運営しています。野菜栽培・養鶏・酪農などさまざまなバックグラウンドを持つメンバーに、活動の様子やそこに込めた思いなどを聞きました。

上段左から渡邉和典さん、大崎浩樹さん
中段左から大野富彦さん、後閑修司さん、
伊能友和さん、渡邉しのぶさん、小川晶さん
下段左から黛若葉さん、林智浩さん、松島薫さん

子どもたちの反応はストレート

林　南麓の魅力、それはもう自然そのもの、それに尽きますね。この環境を壊さず大切にし、後世に伝えたい、そんな思いで仲間とＮＰＯを立ち上げました。活動をとおして今の子どもたちを見ていると、便利さが生きる力を削いでいると感じます。裸の火を見たことが無くて、熱いと知らずに触っちゃう子もいるしね。

渡邉　本当は家族や地域がそういう体験をさせてくれればいいんだけど、今は親も忙しいしね。

黛　体験することで子どもたちの表情はどんどん変わります。キャンプなどで家族以外と交流すると、人との付き合い方なども学んでいくみたい。そこに手応えを感じますよね。

渡邉 しのぶさん
地域での体験は大切です。

林 智浩さん
メンバーは皆アツイんですよ。

林　農学舎らしい変化といえば、体験を通じて、食べ物を見る目が養われるということ。親とスーパーに行くと食材やその値段、味などについて話すみたいです。子どもに伝えると、きちんと反応があるんですよね。食品が提供されるまでにどんな作業が必要なのか、農薬や添加物はどうなのか、それらを正しく理解することがとても大切だと思います。

伊能　クリックひとつで何でもすぐに手に入る便利な世の中で、野菜作りはセオリーどおりには行かない。そうやって手をかけてできた野菜にはそれなりの値段が付く、それも理解してほしいな。体験活動から、子どもたちが自然と向き合う僕たちの姿をかっこいいと思ってもらえるようになったらうれしいね。自分は農園をやっているけど、大変な思いをしても野菜作りを続けるのは、おいしいと言って食べてくれる人がいるから。学校給食にも野菜を卸しているけど、子どもたちが待っていると思うと、雨でどろどろになっても収穫しなくちゃって思う。ホント、それだけだよね。

伊能 友和さん
自然は厳しいぞ。

農学舎の、南麓の、前橋のこれから

大崎　この辺り（赤城南麓地域）は、豊かな自然に頑張る人に居場所に、その状態はもう完璧で全てがそろっている状態。だから、ムリに都会に合わせたり、ほかの場所の物まねをしたりするんじゃなくて、自分たちの暮らしを守りながら、多くの人に知ってもらえるようにしていきたいよね。

林　活動していると、周りからの期待も感じます。いい意味でのプレッシャーというか。でも、自分たちは好きでやっているんですよね。そうでなかったら続かないですし（笑）。最近は、まちなかでも売り手と作り手の顔の見える関係性を大切にするイベントが行われています。そのうちの一つ、11月に行われた「前橋めぶくフェス」は、県内で頑張る生産者やアーティストなどが集まるイベント。私たちも子どもと一緒にそこに参加しました。あかぎキッズファームでできた野菜を午前中に収穫し、とれたての状態で午後に販売したんです。

大崎 浩樹さん
居場所があるっていいよね。

黛 若葉さん
子どもの変化はすごいですよ。

＼そんならみんなでやってみんべえ！／

まえばし農学舎の活動の様子はこちらをチェック

たくさん食べり！ 前橋産

南麓野菜の魅力を全国に発信

ワタナベファーム・ひろ味工房・野菜ソムリエ
渡邉博美さん（粕川町深津）

野菜栽培だけでなくジュースやジャムなどの加工品も作り、素材に新たな磨きをかけています。

「粕川でずっと生活していますが、人とのつながりを感じながら生活できるのが好き。そんな環境で作った南麓野菜の魅力、たくさん伝えていきたいと思います」

おいしい豚肉を味わえます

とんとん広場（三夜沢町）

自社の牧場で育てた豚をハムやソーセージに加工・販売するほか、レストランで提供しています。また、子どもたちを対象にハムやウインナーソーセージ作りを行うなど、食育にも力を入れています。

学校給食には県産・前橋産が

前橋市の給食で使用している野菜の地産地消率は、国の目標を10％上回る、約40％。地元の特産品を多く使った給食で食育に取り組んでいます。地産地消について詳しくは、本紙12月15日号のワカモノ記者ページをお楽しみに。

そんならみんなでやってみんべえ＝それではみんなでやってみよう　たくさん食べり＝たくさん食べてね